

平成 20 年度 自己評価書（試行実施）

秋田市立高清水小学校

子ども同士・子どもと教師等の温かなふれあいや共感、協力を根幹としながら、文化と歴史ある地域の中の学校として、保護者や地域の方々の理解と協力を支えられながら教育活動を実践することができた。家庭環境が多様化する中で、生徒指導に心くばりをしながら全職員で全校児童をみていくという一貫した姿勢で取り組んでいる。学習指導においては、確かな学力を成立させるために、子どもの主体的な思考活動を高める取組をしている。授業研究会での成果を、日々の授業の中で子どもに還元していくようにしている。特別活動、とりわけ児童会活動については、独自の体制の中で、大変に活発な活動を実践しており自主・自立の心が育っている。

2 評価結果の概要

分野	評価項目	取組状況と成果・課題	評価	改善策
教育課程・学習指導	基礎基本の確実な定着と、自ら考え自ら学ぶ力の育成	・学年部が創意工夫する「パワーアップタイム」の継続的な実践によって、「確かな学力」の基礎となる力を培っている。また、子どもが「自分事」として設定する学習課題が、学習意欲を高めている。	B	・学年のつながりや、年間の見通しを一層明確にし、パワーアップタイムの充実を図る。 ・学習意欲を生かし、一人一人の学びにたくましく取り組めるよう支援していく。
	わかる授業・楽しい授業をめざした学習過程の工夫	・「思考活動」に焦点を当て、子どもの心に響く教師の問いかけ方を吟味し、授業展開を工夫している。 ・TT（複数の教師で行う授業）を取り入れ、きめ細かな指導の充実を図っている。	A	・子どもの思考内容を的確にとらえる方法を工夫していく。 ・体験的な活動や具体物を用いた学習によって、わかる授業・楽しい授業を展開する。
生徒指導	児童同士、児童と教師等の好ましい人間関係づくり	・全職員で子どもを育てるという意識をもち、学年にかかわらず声かけをしている。上学年の子どもが下学年の面倒をみる場面を意図的に設けながら、安心して生活できる人間関係作りを進めるように努力している。	A	・一層安心で満足感や成就感のある学校生活を送れるよう、教師同士の連携を密にし、共通理解を図った上で声かけをしていく。 ・学級、学年の壁を取り払った活動や指導を継続し、さらに充実させていく。
	諸問題の早期発見と、解決に向けた対応と子どもへの支援	・子どもへの定期的な生活アンケートや職員間の情報交換、日記や会話などから、子どもの心の変化をとらえられるようにしている。また、担任だけでなく、学年部や養護教諭、教科担当教諭、関係機関とも連携しながら、指導にあたっている。そうした体制によって、子どもの悩みや不安、問題の早期解決をめざしている。	B	・生活アンケートの内容を吟味し、子どもの悩みや不安をよりの確に把握できるようにする。 ・必要に応じて児童と面談したり、保護者や地域との連携等を一層充実させたりしながら、個に応じた支援をきめ細かにしていく。

分野	評価項目	取組状況と成果・課題	評価	改善策
家庭・地域との連携	ふるさと教育を通じた地域との絆づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科等による地域の歴史、文化、人に触れる学習を行うことによって、地域を知り愛着をもたせることができた。 ・ふるさと絵画展や児童会クリーンアップなどの取組も地域に目を向ける機会となっている。地域の人たちとのつながりについては一層深めていく工夫が必要である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人たちをゲストティーチャーとして招くなど、地域との交流の仕方を検討し、一層のふるさと教育推進を図る。
	子どもを共に育てるという視点での、開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの充実を図ったり、定期的に学校だよりや学年だよりを発行したりして、情報発信に心がけた。 ・PTA 活動が活性化し、内容も学年部・各専門部ごと大変工夫されている。全会員の一層の協力体制が得られるよう共に働きかけていく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域の方からの声を聞くことができるように、PTA 懇談や地域での連絡をさらに充実させていく。 ・登下校の安全等にご協力をいただいている地域のご厚意を、一層広げていくような組織の編成を検討する。
主体的な活動を育てる	一人一人のよさや可能性を發揮できる児童会活動の充実と活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・役員選挙を通して選出される児童会長を中心とした活動が大変活発で、自主・自立の気持ちが育っている。また、2年間を共に過ごす縦割り班による活動は、異学年の友だちから多くのことを学び、思いやりの気持ちを育むよい場面である。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会の活動を全校児童に紹介する取組を工夫していく。 ・学年に応じた児童会活動を多くの子どもの経験させることで、中・低学年にも自分たちの児童会という意識を一層高めていく。
心の教育	全教育活動を通しての豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科・道徳の時間・児童会活動・子どもとのふれあい等、全教育活動を通して「温かい子」「輝く子」「たくましい子」を育てる方向に向かっている。現在の自分を見つめ、未来に向かって互いに成長していこうとする意欲がみえてきている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学習、生活指導、特別活動などあらゆる場面で、心を豊かにする「ことばを大切にした指導」を心がけていく。 ・読書環境の整備と読書活動の充実を図っていく。